

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	02	01	景観形成推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観推進事務費

実施計画整理番号	
401020101	
総合戦略整理番号	32303

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
茂原市の景観が、憩い、潤い、安らぎ、趣きがあり、ふるさと景観として愛着が持てるようにめざす。	景観条例・景観計画の効果的な運用と推進方策の実施に努める。
平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
・市民との協働による景観形成施策の推進 ・景観資源のPR、及び景観形成施策の周知・啓発	4月 景観資源の視察(茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議) 9月 第1回茂原市景観計画推進庁内連絡調整会議開催「まちづくり効果を高める公共事業の進め方」「景観づくりについて」 12月 景観資源52箇所PR用ポスターを作成する。 1月 景観資源看板を設置する。(富士見緑道) 3月 茂原市景観審議会を開催し、景観づくり活動団体の認定を行う。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	491	491	201	312	383	178	312	457	348
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	491	491	201	312	383	178	312	457

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	景観審議会の開催	223	148	59	・概ね達成できた。引き続き、必要に応じ、開催する。
②	景観アドバイザーの活用	89	18	0	・活用の必要性がなかった。引き続き、必要に応じ、活用する。
③	景観資源の広報活動	0	85	84	・概ね達成できた。引き続き活動する。
④	地域の景観資源の整備と情報発信【地方創生】	0	206	205	・概ね達成できた。引き続き発信する。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		312	457	348	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・市民協働による景観まちづくりを実現すべく、景観審議会を開催し、景観づくり活動団体(本納第6区山寺を守る会)を認定した。 ・景観資源案内看板の制作(1基)、七夕飾りわいわいプロジェクトへ参加した。 ・景観資源PRポスターを作成し、市内公共施設等に掲示した。

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	01	02	01	景観形成推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	09	景観推進事務費

整理番号	
401020101	
総合戦略 整理番号	32303

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
・「景観」を主たるテーマとし、茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議開催6回以上 ・茂原市景観審議会の開催 ・茂原市景観計画推進庁内連絡調整会議開催		・景観資源PRポスター、市内向け1枚、市外向け1枚作成 ・景観づくり活動団体に1団体認定(2団体目) ・茂原市景観計画推進庁内連絡調整会議を開催し、景観に配慮した公共工事の有効性について説明した。			
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	茂原市が主導で行う事業だが、市民、事業者と協働で行えるよう積極的に働きかけている。	A:有効である	良好な景観は、地方からの観光客を呼び寄せ、活気をもたらすため、有効である。	B:やや効率的である	少額の予算内で、できることを行っているが、景観資源の保全について、今後コストの増大が見込まれる。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	HPで景観資源52箇所の情報を掲載している。	A:実現している	市民を中心に組織された茂原市都市計画マスタープラン推進市民会議で意見や提言をいただいている。	A:実現している	景観づくり活動団体の加入を促進し、協働によるまちづくりを推進している。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	景観資源を市民等に周知するために、景観資源PRポスターを作成し、学校をはじめとする公共機関、景観資源管理者、商店街や駅等に掲示した。その結果、「ポスターが欲しい」、「景観資源への行き方を教えて欲しい」などの多数の問合せがあり、効果があったと思われる。また、景観審議会を開催し、景観づくり活動団体を1団体認定した。良好な景観を形成するためには、長い年月が必要なため、地道な活動が必要である。				
企画政策課での評価とその理由					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種PR活動により、景観の推進に大きな効果があったものと認められる。今後は、市民との協働による景観形成施策の推進や、更なる景観資源のPRを推進するものとする。				
政策調整会議での評価とその理由					
庁議における方針					

29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
GISによる景観資源の情報発信 景観資源案内看板の設置 景観づくり活動団体への助成	GISの閲覧数 景観資源案内看板3箇所設置 景観づくり活動団体(2団体)への助成		
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
5月 「茂原の景観づくり」増刷。 6月 GISに景観資源を掲載する。 10月 景観資源案内看板の設置。(つつじ園、服部農園、牡丹園)	市民協働による景観形成施策の推進		

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業

実施計画整理番号	
402010101	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	土地区画整理事業施行中の茂原駅前通り地区については、中心市街地としての商業・業務環境および住環境の整備を継続的に進めるとともに、集客力のある複合施設等商業核施設の事業化に向けて調査研究を進める。	・道路整備により、交通の利便性を向上させ、消防活動等を容易とする。 ・地域の活性化および宅地の利用増進を図る。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
限られた予算の中で都市計画道路「高師町下井戸線」の整備を最優先として、暫定供用に向けて事業推進を図る。 大型建築物の移転工法及び補償費等を確立する。	①建物移転、道路工事等の実施 ②まちづくり推進協議会の会議開催	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	97,313	345,442	251,706	322,214	281,447	164,720	764,654	670,709	635,147	
財源内訳	国補助	千円	25,425	104,337	79,335	90,400	36,950	54,522	0	323,650	187,041
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	29,700	155,300	123,600	151,300	124,800	57,100	684,500	289,700	398,800
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	42,188	85,805	48,771	80,514	119,697	53,098	80,154	57,359	49,306

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	事業計画・実施計画の変更	0	0	0	
②	建物移転	764,654	655,501	625,517	前年度からの繰越1件の他、2件の補償契約を締結した。今後も継続して取組む必要がある。
③	道路工事	0	11,524	7,560	概ね目標は達成され、今後も継続して取組む必要がある。
④	整地工事	0	3,434	1,820	概ね目標は達成され、今後も継続して取組む必要がある。
⑤	効果促進事業	0	250	250	目標は達成され、今後も継続して取組む必要がある。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		764,654	670,709	635,147	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
②建物移転補償を繰越分を含み3件実施(1件契約繰越) ③道路築造工事を1箇所実施 ④整地工事及び公共汚水樹設置工事を5箇所実施 ⑤イベント「子どもあそび広場」を通じ、区画整理事業のPRを実施

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	402010101	
4	02	01	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	7	03	04	01	茂原駅前通り地区土地区画整理事業	総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況				28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	①建物移転補償を繰越分1件、現年分2件実施し、1件は繰越 ②道路築造工事は現年分1箇所を実施 ③まちづくり推進協議会の活動として、会議5回、勉強会、視察研修、雑談会を開催				事業進捗率36.8%(約4%上昇)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	中心市街地としてふさわしい秩序ある市街地整備を図るため公共事業にて施行する必要がある。	B:やや有効である	24年を経過した現在で事業進捗率が36.8%であり、事業の長期化が危惧される。	A:効率的である	国の補助制度を活用している		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	ホームページでの公表「区画整理だより」の発行	A:実現している	まちづくり推進協議会会議	B:実現に向けて取り組んでいる	勉強会・視察研修にて施設予定地の活用方法等を検討		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	大型建築物を含む建物移転(2件)を実施し、概ね計画通り事業に取り組むことができたが、課題として、権利者から事業が遅延・長期化している状況に対しての不満等も多く、早期完成・中心市街地の活性化を目指した事業展開を図る必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	中心市街地としての商業・業務環境及び住環境の整備という目的に資するものであり、2件の建物移転を行ったことにより、当初の目的は達成していると認められる。今後も計画的な事業の推進に努める必要がある。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定				29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	①建物移転補償2件の実施 ②道路築造工事2箇所の実施 ③まちづくり推進協議会の会議開催				事業進捗率			
29年度における事務事業スケジュール				平成29年度における具体的な目標				
①建物移転、道路築造工事の実施 ②まちづくり推進協議会の会議開催				限られた予算の中で都市計画道路「高師町下井戸線」の整備を最優先として、暫定供用に向けて事業推進を図る。				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	03	本納駅東地区まちづくり整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	03	本納駅東地区まちづくり整備事業

実施計画整理番号	
402010302	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	本納駅東地区については、準用河川乗川、都市計画道路本納駅東口線及び地区計画で定められた地区施設を整備することで、防災性と安全性を備えた良好な住環境の形成を図ることを目的とする。	利便性の向上と安全性の確保のため、地区施設である区画道路1号の整備を実施する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・区画道路1号の整備計画を決定 ・説明会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ①用地測量の実施 ②まちづくり協議会の会議開催 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円				0	7,777	7,344	0	10,962	9,478
財源内訳	国補助	千円			0	0	0	0	0	0
	県補助	千円			0	0	0	0	0	0
	市債	千円			0	6,900	6,600	0	9,800	8,500
	その他	千円			0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円			0	877	744	0	1,162	978

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	区画道路1号の整備	0	10,962	9,478	概ね目標は達成され、今後は、土木建設課にて事業を実施する。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	10,962	9,478	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ①用地測量業務完了 ②本納駅東地区まちづくり推進協議会会議実施 ③本納駅東地区まちづくり推進協議会ニュース(広報誌)発行 ④土地区画整理事業廃止の都市計画決定

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	03	本納駅東地区まちづくり整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	03	本納駅東地区まちづくり整備事業

整理番号	
402010302	
総合戦略 整理番号	-

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況															
①区画道路1号の用地測量業務の実施 ②まちづくり推進協議会の会議開催	区画道路1号の用地測量業務が完了したことにより、用地買収に係る準備は完了したが、設計変更等により、買収部分が未確定のため、買収業務に移行できていない。															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A:妥当である 自治体で公共施設を整備することで、良好な住環境の形成が図れる。</td> <td>A:有効である 利便性の向上と歩行者の安全性が確保される。</td> <td>A:効率的である 前年度に行った詳細設計により、最も費用対効果の高い整備計画となっている。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会開催による委員への情報提供及び関係者への広報紙の発行。</td> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会の会議開催。</td> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会と協議しながら、より地域に適した整備計画の検討。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である 自治体で公共施設を整備することで、良好な住環境の形成が図れる。	A:有効である 利便性の向上と歩行者の安全性が確保される。	A:効率的である 前年度に行った詳細設計により、最も費用対効果の高い整備計画となっている。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会開催による委員への情報提供及び関係者への広報紙の発行。</td> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会の会議開催。</td> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会と協議しながら、より地域に適した整備計画の検討。</td> </tr> </tbody> </table>			「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会開催による委員への情報提供及び関係者への広報紙の発行。	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会の会議開催。	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会と協議しながら、より地域に適した整備計画の検討。
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由														
A:妥当である 自治体で公共施設を整備することで、良好な住環境の形成が図れる。	A:有効である 利便性の向上と歩行者の安全性が確保される。	A:効率的である 前年度に行った詳細設計により、最も費用対効果の高い整備計画となっている。														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会開催による委員への情報提供及び関係者への広報紙の発行。</td> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会の会議開催。</td> <td>B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会と協議しながら、より地域に適した整備計画の検討。</td> </tr> </tbody> </table>			「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会開催による委員への情報提供及び関係者への広報紙の発行。	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会の会議開催。	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会と協議しながら、より地域に適した整備計画の検討。								
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由														
B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会開催による委員への情報提供及び関係者への広報紙の発行。	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会の会議開催。	B:実現に向けて取り組んでいる まちづくり推進協議会と協議しながら、より地域に適した整備計画の検討。														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">所管による評価とその理由、課題・問題点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td>概ね目標が達成され、一定の成果があったと認められる。課題として、本地区のまちづくりを進めるにあたっては、浸水被害の解消が必要不可欠なため、河川の整備状況を鑑みながら、地区整備計画を継続して進める必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>		所管による評価とその理由、課題・問題点		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね目標が達成され、一定の成果があったと認められる。課題として、本地区のまちづくりを進めるにあたっては、浸水被害の解消が必要不可欠なため、河川の整備状況を鑑みながら、地区整備計画を継続して進める必要がある。											
所管による評価とその理由、課題・問題点																
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね目標が達成され、一定の成果があったと認められる。課題として、本地区のまちづくりを進めるにあたっては、浸水被害の解消が必要不可欠なため、河川の整備状況を鑑みながら、地区整備計画を継続して進める必要がある。															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">企画政策課での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td>当初の目的である区画道路1号の用地測量については完了しており、達成されている。今後も河川の整備状況と整合を図りながら、まちづくりの推進に努めるものとする。</td> </tr> </tbody> </table>		企画政策課での評価とその理由		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の目的である区画道路1号の用地測量については完了しており、達成されている。今後も河川の整備状況と整合を図りながら、まちづくりの推進に努めるものとする。											
企画政策課での評価とその理由																
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の目的である区画道路1号の用地測量については完了しており、達成されている。今後も河川の整備状況と整合を図りながら、まちづくりの推進に努めるものとする。															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">政策調整会議での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		政策調整会議での評価とその理由														
政策調整会議での評価とその理由																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">庁議における方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		庁議における方針														
庁議における方針																

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
A 所管が移行したため、設定なし。	A 所管が移行したため、設定なし。
29年度における事務事業スケジュール	平成29年度における具体的な目標
所管が移行したため、設定なし。	所管が移行したため、設定なし。

CHECK (評価)

ACT (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	02	01	03	組合土地区画整理事業(賦課金徴収業務)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	04	04	組合土地区画整理事業(賦課金徴収業務)

実施計画整理番号	
402010303	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	組合土地区画整理事業が施行期間内に事業終了できるよう支援に努める。	組合土地区画整理事業の事業終了に向け、賦課金徴収を実施する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・滞納処分等を実施し、賦課金を徴収する。 ・財産調査を行うとともに、データの整理をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①滞納処分等を実施し、賦課金を徴収する。 ②不動産の公売価格決定に際し、周辺保留地の販売価格調査を実施。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円				0	6,761	157	0	1,855	305
財源内訳	国補助	千円			0	0	0	0	0	0
	県補助	千円			0	0	0	0	0	0
	市債	千円			0	0	0	0	0	0
	その他	千円			0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円			0	6,761	157	0	1,855	305

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	賦課金の徴収	0	1,855	305	賦課金滞納者の調査を徹底し、徴収可能な者、不可能な者を判断し、適切に賦課金徴収を行う。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		0	1,855	305	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
組合からの滞納処分申請により、2名の滞納処分を実施し、1名より賦課金を徴収する。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	402010303	
4	02	01	03	組合土地区画整理事業(賦課金徴収業務)	7	03	04	04	組合土地区画整理事業(賦課金徴収業務)	総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況				28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	滞納処分申請者数18名のうち、2名の滞納処分を実施し、1名より賦課金を徴収する。				滞納賦課金合計額に対する徴収率は、35.8%である。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	早期に事業終了できるよう支援することが望ましい。	A:有効である	事業費の確保が図られ、適正な事業運営ができる。	B:やや効率的である	事業目的を十分に説明し、自主納付を求める。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	C:実現の余地がない	組合員の個人情報に資するため。	C:実現の余地がない	組合員の個人情報に資するため。	A:実現している	組合と協働し、早期に事業終了できるよう努めている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	賦課金徴収業務は、昨年度より着手したものであるが、一部の未納者より賦課金を徴収し一定の成果があったと考える。今後の課題として、滞納処分申請の追加も予想されるが、賦課金徴収に係る事務は多大な時間を要する。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	昨年度より徴収率が9.5%(H27 26.3%→H28 35.8%)上昇しており、一定の成果が認められる。今後も組合土地区画整理事業の事業終了に向けて、賦課金を徴収するものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定				29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	財産調査の徹底と滞納処分の早期着手				徴収率の上昇			
29年度における事務事業スケジュール				平成29年度における具体的な目標				
①滞納処分等を実施し、賦課金を徴収する。 ②不動産の公允価格決定に際し、周辺保留地の販売価格調査を実施。				・滞納処分等を実施し、賦課金を徴収する。 ・財産調査を行うとともに、データの整理をする。				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	03	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業

実施計画整理番号	
403010101	
総合戦略整理番号	43201

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	圏央道を有効利用するために、(主)千葉茂原線にスマートIC(ETC車専用)を設置し、市民及び道路利用者の利便性の向上、また、企業立地や生産活動の活性化を図る。	(仮称)茂原長柄スマートインターチェンジ実施計画書に基づき施行する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
事業用地の円滑な取得を図り、工事を発注する。	<ul style="list-style-type: none"> 年度内に用地の取得や埋蔵文化財の現地調査を完了する。 アクセス道路については、早期に工事発注を実施する。 県道部については、第三四半期までに千葉県と用地事務委託を締結し、第四四半期より用地交渉に着手する。 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	211,100	252,100	36,768	161,300	318,497	248,599	73,000	306,803	245,565	
財源内訳	国補助	千円	111,529	134,079	16,948	88,715	38,819	128,535	40,150	130,195	100,561
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	42,500	50,800	7,700	32,600	21,900	48,600	14,700	57,400	44,200
	その他	千円	52,125	61,350	11,070	36,292	26,605	65,494	16,425	97,177	79,684
	一般財源	千円	4,946	5,871	1,050	3,693	231,173	5,970	1,725	22,031	21,120

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	スマートICの設置	73,000	306,803	245,565	概ね目標は達成され、今後も継続して取組む必要がある。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		73,000	306,803	245,565	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> 道路整備に着手し、道路改良工事を5件実施(2件繰越) 道路用地を27件取得 埋蔵文化財調査(本調査)を実施

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	403010101	
4	03	01	01	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業	7	01	03	03	(仮称)茂原・長柄スマートIC設置事業	総合戦略 整理番号	43201

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況				28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地を27件取得 道路改良工事を5件実施し、2件は繰越 				<ul style="list-style-type: none"> 用地取得率(全体)96.2%(56.4%上昇) 道路改良工事進捗率 48,418千円(支出済額)/82,177千円(予算現額)=58.9% 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市民及び道路利用者の利便性の向上を図るため、公共事業にて施行する必要がある。	A:有効である	スマートICを設置することで、圏央道の有効利用が図られる。	B:やや効率的である	今後も国の補助制度を活用するとともに、コスト削減が図れるよう努める必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	<ul style="list-style-type: none"> ホームページでの公表 住民説明会 	A:実現している	地区協議会	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会等と協議をおこなっている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	権利者との用地交渉が難航したことにより、用地取得が完了に至らなかった。また、道路改良工事については、2件が繰越となった。課題として、平成32年4月の供用開始予定を少しでも早くできるよう計画的な事業展開を図る必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	事業の進捗の遅延があるが、埋蔵文化財の調査や道路改良工事等、一定の成果があったものと認められる。今後も残りの用地取得を優先し、計画的な事業の推進を図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定				29年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> 道路用地の取得件数 道路改良工事の実施 				<ul style="list-style-type: none"> 用地取得率(全体) 工事進捗率 			
29年度における事務事業スケジュール				平成29年度における具体的な目標				
<ul style="list-style-type: none"> 道路用地の取得 道路改良工事の実施 建物移転補償の実施 				道路用地の取得を完了するとともに、早期に道路改良工事を実施し、事業促進に努める。				

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

実施計画整理番号	
403010301	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	都市計画道路「桑原梅田線」他1路線の事業認可区域内の道路を完成させ、市街地の交通緩和を目的とした補助幹線道路網の整備をする。	事業認可区域内の街路事業用地を取得し、道路改良工事を実施する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
	実施方針に則り、桑原梅田線は、事業用地を179.12㎡取得し、用地取得率を53.92%とする。	都市計画道路「桑原梅田線」事業用地買収のため、測量委託を第一四半期に発注し、事業用地購入と建物等移転補償を第三四半期に実施する。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	50,840	89,252	85,323	52,732	20,009	19,393	70,000	112,594	112,514	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	29,000	11,000	7,260	38,500	17,244	4,180
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	45,700	80,200	76,700	21,300	8,100	10,600	28,300	12,600	3,000
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,140	9,052	8,623	2,432	909	1,533	3,200	82,750	105,334

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	桑原梅田線の整備	70,000	112,594	96,907	用地取得1件(補償含む)を実施 継続して用地取得を進める
②	小林浜町線の整備	0	0	15,607	基金により先行取得した用地の買戻しを実施 継続して用地交渉を実施する
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		70,000	112,594	112,514	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
桑原梅田線	… 用地取得1件(398.64㎡)、これに伴う家屋補償を実施した。
小林浜町線	… 土地開発基金により先行取得した用地の買戻し1件(80.12㎡)を実施した。

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	01	03	都市計画道路整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	02	01	街路事業費

整理番号	
403010301	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	用地取得 1件 398.64㎡		取得率 取得面積 8554.98㎡ / 全体計画面積 15,336㎡ 55.7%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 都市計画道路として整備する事で、駅周辺の交通緩和が図られるため妥当である。認可区域には建築制限があるため、早期完成が望ましい。		A:有効である 完成後には駅周辺の交通緩和が図られる。		A:効率的である 用地購入にあつては不動産鑑定評価、損失補償については千葉県公共用地対策協議会の積算要領により算出しており、経費削減は望めない。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる 認可事業であることから告示行為を行っている。		B:実現に向けて取り組んでいる 縦覧期間に意見聴取の機会がある。		その他 権利者個々の交渉となるため、個人情報保護の観点から協働に適さない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		計画路線において用地取得の進捗が図れた。限られた予算における事業の実施であり、用地交渉にも多大な時間を要する為、事業認可時の計画通りに実施できない状況である。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		当初の予定である桑原梅田線の事業用地購入と建物等移転補償については、計画通り進捗していることから、目的は達成されていると認められる。今後も計画的な用地取得を実施するものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	用地取得		用地取得率	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
物件調査委託、不動産鑑定等を上半期に執行する。用地取得及び建物移転補償1件を上半期に実施する。		物件調査及び不動産鑑定について早期発注に努める。用地取得に向け地権者と交渉を行う。		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	バス運行対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	06	バス運行対策事業

実施計画整理番号	
403030101	
総合戦略整理番号	43101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	運行維持が困難となったバス路線について、学生や高齢者などの交通弱者及び通勤利用者の交通手段を確保する。	運行するバス事業者に補助金を交付し、路線バスの運行を維持する。
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
交通弱者及び通勤利用者の交通手段を維持するために、バス会社に対する適正な補助額を算定し、関係町村と適正な負担額を協議する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度にバス事業者と関係市町村で定めた負担割合等に基づき、補助金の交付を行う。(10月、3月の2回に分けて交付) ・用地の借り上げ契約(平成30年3月31日まで)に基づき借り上げを行う。(9月末と3月末の2回に分けて支出) 	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,773	3,773	3,773	3,773	3,773	3,773	3,773	3,956	3,956
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,773	3,773	3,773	3,773	3,773	3,773	3,773	3,956

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	路線バス運行維持支援	3,773	3,956	3,956	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を交付し、路線バスの運行維持を図った。 ・バスの折り返し用の用地を借上げた。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		3,773	3,956	3,956	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの運行を維持するため、3,921,000円の補助金を交付した。 (茂原白里線 1,968,000円、本納白子線 1,133,000円、茂原駅陸沢中央公民館線 820,000円) ・上永吉、千葉眼科先でバスが折り返すための用地を借上げた。(34,991円)

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	01	バス運行対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	06	バス運行対策事業

整理番号	
403030101	
総合戦略 整理番号	43101

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付額 3,921,000円 補助金の交付対象路線数 3路線 用地借上げ箇所 1箇所 		利用者数(路線全体) <ul style="list-style-type: none"> 茂原白里線 15,315人 本納白子線 13,796人 茂原駅陸沢中央公民館線 35,399人 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	住民の交通手段の確保のため必要である。	A:有効である	補助金の交付により、廃止予定であった路線の維持が図れる。	B:やや効率的である	必要な施策であるが、特定の地域の施策となっている。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	バス事業者と関係市町村とが協議し、お互いの負担割合等を定めている。	A:実現している	バス事業者と関係市町村とが協議し負担割合等を定めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	市町村が支援し、バス事業者は、鋭意努力する。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該事業については、計画通り執行され、目的とする路線の確保が図られた。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の目的である路線の確保について成果が認められる。引き続き利用状況を把握し、今後の方針等を関係団体と協議の上、検討するものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付額 補助金の交付対象路線数 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者数 	
29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標		
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度にバス事業者と関係市町村で定めた負担割合等に基づき補助金の交付を行う。 契約に基づく用地の借り上げ箇所 平成29年度にバス事業者と関係市町村で負担割合等の協議を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者数住民の交通手段の確保・維持を図る。 		

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	02	地域公共交通運行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	04	地域公共交通運行事業

実施計画整理番号	
403030201	
総合戦略整理番号	43101

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	交通空白地域の市民生活に対し、必要な移動手段を確保するため、定時定路線型(市民バス)及びデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)の運行をする。	定時定路線型(市民バス)の運行 市北西部におけるデマンド交通(区域運行型乗合タクシー)の運行 茂原市地域公共交通会議の開催
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
	利用者数の増加。	市民バス・デマンド交通運行委託の随意契約(4月)。デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札(5月)。地域公共交通調査業務委託(1月)。地域公共交通会議の開催(5月、6月、12月)。

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	19,233	19,373	18,906	19,233	20,745	20,106	19,233	26,357	25,214	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	8,548	8,548	6,607	8,548	8,542	0	8,548	7,974	9,153
	一般財源	千円	10,685	10,825	12,299	10,685	12,203	20,106	10,685	18,383	16,061

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域公共交通会議の運営	245	245	200	会議を3回(6月、12月、3月)開催した。運行計画の見直しに伴い、3月の会議から、新たな委員として日本大学理工学部教授に出席いただいた。
②	市民バスの運行	15,854	19,747	19,612	利用者は、昨年度比で約26%の増となった。今後も利用拡大に努める
③	デマンド交通の運行	3,134	3,438	2,766	利用者は、昨年度比で約24%の増となった。今後も利用拡大に努める
④	地域公共交通調査	0	2,927	2,636	市民2,000人・利用者等を対象としたアンケート調査を実施し、ニーズ等の把握に努めた。今後は、調査結果を運行計画の見直しに反映させる。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		19,233	26,357	25,214	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
	<ul style="list-style-type: none"> 市民バスの委託による運行(小湊鉄道株式会社) 市民バスの車両1台をノンステップバスに更新 デマンド交通の委託による運行(都自動車株式会社、有限会社東タクシー) 地域公共交通会議の開催 地域公共交通調査(ランドブレイン株式会社) 運賃収入以外の収入確保(有料広告:応募事業者2社)

DO
(実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	03	03	02	地域公共交通運行事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	04	地域公共交通運行事業

整理番号	
403030201	
総合戦略 整理番号	43101

28年度活動指標(アウトプット)の達成状況	28年度成果指標(アウトカム)の達成状況												
・市民バス運行本数: 東部コース5.5便/日、北部、南部(五郷)、南部(鶴枝)の各コース4便/日※平日毎日 年間延4252.5便(243日)・デマンド交通: 7便/日(月・水・金) 年間延1,022便(146日)・地域公共交通会議: 3回開催(6月、12月、3月)・交通マップの配布(各公共施設に設置)、広報6回掲載、自治会回覧1回(9月)、説明会1回(市民会議)	・市民バス「モバス」及びデマンド交通「ふれあい」を計画通り運航できた。・市民バスの利用者数 16,563人・デマンド交通登録者数 5,589人(平成29年3月31日現在)・運賃収入以外の収入確保(有料広告) 応募事業者2社												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">妥当性の評価とその理由</th> <th colspan="2">有効性の評価とその理由</th> <th colspan="2">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A: 妥当である</td> <td style="width: 35%;">交通空白地域の解消及び交通弱者の交通手段の確保を目的とした事業であるため</td> <td style="width: 15%;">A: 有効である</td> <td style="width: 35%;">交通空白地域における高齢者等の交通弱者の交通手段として利用されているため</td> <td style="width: 15%;">C: あまり効率的ではない</td> <td style="width: 35%;">利用状況から、未だ改善の余地がある。</td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由		A: 妥当である	交通空白地域の解消及び交通弱者の交通手段の確保を目的とした事業であるため	A: 有効である	交通空白地域における高齢者等の交通弱者の交通手段として利用されているため	C: あまり効率的ではない	利用状況から、未だ改善の余地がある。
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由									
A: 妥当である	交通空白地域の解消及び交通弱者の交通手段の確保を目的とした事業であるため	A: 有効である	交通空白地域における高齢者等の交通弱者の交通手段として利用されているため	C: あまり効率的ではない	利用状況から、未だ改善の余地がある。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「参加」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A: 実現している</td> <td style="width: 35%;">HP上に情報を掲載している。交通マップを作成し配布している。</td> <td style="width: 15%;">A: 実現している</td> <td style="width: 35%;">交通事業者や市民等で組織された地域公共交通会議で連絡調整を行っている。</td> <td style="width: 15%;">B: 実現に向けて取り組んでいる</td> <td style="width: 35%;">市民、交通事業者、行政で協働の理念のもと、各々の役割を担うことで、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。</td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		A: 実現している	HP上に情報を掲載している。交通マップを作成し配布している。	A: 実現している	交通事業者や市民等で組織された地域公共交通会議で連絡調整を行っている。	B: 実現に向けて取り組んでいる	市民、交通事業者、行政で協働の理念のもと、各々の役割を担うことで、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由									
A: 実現している	HP上に情報を掲載している。交通マップを作成し配布している。	A: 実現している	交通事業者や市民等で組織された地域公共交通会議で連絡調整を行っている。	B: 実現に向けて取り組んでいる	市民、交通事業者、行政で協働の理念のもと、各々の役割を担うことで、持続可能な公共交通体系の構築を目指す。								
所管による評価とその理由、課題・問題点 B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 市民バスについては、年間延約16,600人の利用者があり、ある程度の成果を挙げている。また、利用者数は昨年度と比較し増えているが、計画上の目標の値まで至っていない。デマンド交通は、年間延1,000人の利用者があり、年々利用者数は伸びている。しかし、市民バスと同様に目標とする値まで至っていない状況にある。													
企画政策課での評価とその理由 B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 市民バス及びデマンド交通について、昨年度より利用者数は増えている(市民バス前年度比+3,405人 デマンド交通前年度比+196人)が、『茂原市地域公共交通計画』における推計値(市民バス等1日98人×運行日数243日=23,814人)までは至っていないため、今後も様々な方法でPRIに努めるものとする。													
政策調整会議での評価とその理由 (この欄は斜線が入っています)													
庁議における方針 (この欄は斜線が入っています)													

29年度活動指標(アウトプット)の設定	29年度成果指標(アウトカム)の設定
市民バス、デマンド交通の運行本数 地域公共交通会議の開催 PR回数	市民バスとデマンド交通の運行管理 市民バスの利用者数 デマンド交通登録者数と利用者数 運賃収入以外の収入確保(有料広告)
29年度における事務事業スケジュール 市民バス運行委託(長期継続契約)、デマンド交通運行委託(随意契約)。市民バス車両残る1台をノンステップバスに更新(4月)。デマンド交通運行委託(10月以降)の指名競争入札(5月)。地域公共交通会議(5月、6月、12月)の開催(運行計画の見直し)。交通マップの作成(9月)と広報掲載	
平成29年度における具体的な目標 市民バスの利用者数の増 デマンド交通登録者数と利用者数の増 運賃収入以外の収入確保(有料広告) 交通マップの作成及び配布	

CHECK (評価)

A C T (改善)

平成28年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	04	01	02	新エネルギー利活用促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用太陽光発電設備設置奨励事業

実施計画整理番号	
404010201	
総合戦略整理番号	-

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	太陽光発電設備の設置を奨励し、地球温暖化防止の意識を高めることにより、市内における二酸化炭素の排出量を削減するため、市内の住宅に国庫補助基準の太陽光発電設備を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付する。	太陽光発電設備を設置する市民に対し補助金を交付する
	平成28年度の具体的な目標	平成28年度スケジュール
太陽光発電システム50件程度、エネファーム10件程度、蓄電池10件程度、HEMS5件程度、電気自動車充電設備5件程度の補助を実施し、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギーの利用の効率化及び最適化を図る。	4月～3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付	

区分	単位	H26年度			H27年度			H28年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,169	3,612	3,558	2,169	5,800	5,070	2,169	5,800	5,382
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,100	2,100	3,500	2,100	5,800	5,070	2,100	5,800
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	69	1,512	58	69	0	0	69	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅用省エネルギー設備の設置促進	2,169	5,800	5,382	概ね達成できた。引き続き実施する。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,169	5,800	5,382	

平成28年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)					
平成28年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳					
住宅用太陽光発電設備	52件	3,472,000円	電気自動車充電設備	0件	0円
家庭用燃料電池システム	8件	800,000円			
定置用リチウムイオン蓄電システム	10件	1,000,000円			
エネルギー管理システム	11件	110,000円			

DO (実施)

平成28年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
4	04	01	02	新エネルギー利活用促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	04	住宅用太陽光発電設備設置奨励事業

整理番号	
404010201	
総合戦略 整理番号	-

CHECK (評価)	28年度活動指標(アウトプット)の達成状況		28年度成果指標(アウトカム)の達成状況																								
	平成28年度住宅用省エネルギー設備等補助内訳		抑制されたCO2排出量 90,486kg																								
	住宅用太陽光発電設備 52件 3,472,000円																										
	家庭用燃料電池システム 8件 800,000円																										
	定置用リチウムイオン蓄電システム 10件 1,000,000円																										
	エネルギー管理システム 11件 110,000円																										
	電気自動車充電設備 0件 0円																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">妥当性の評価とその理由</th> <th colspan="2">有効性の評価とその理由</th> <th colspan="2">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:妥当である</td> <td>市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付した。</td> <td style="width: 15%;">A:有効である</td> <td>住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励することにより、地球温暖化の意識を高め、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。</td> <td style="width: 15%;">A:効率的である</td> <td>平成28年度は千葉県の補助設備に準じ設備等の見直しを行った。</td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由		A:妥当である	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付した。	A:有効である	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励することにより、地球温暖化の意識を高め、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。	A:効率的である	平成28年度は千葉県の補助設備に準じ設備等の見直しを行った。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「参加」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:実現している</td> <td>ホームページ、広報により制度の概要について周知している。</td> <td style="width: 15%;">C:実現の余地がない</td> <td></td> <td style="width: 15%;">C:実現の余地がない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		A:実現している	ホームページ、広報により制度の概要について周知している。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由																							
A:妥当である	市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、千葉県補助基準の範囲内で補助金を交付した。	A:有効である	住宅用省エネルギー設備等の設置を奨励することにより、地球温暖化の意識を高め、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。	A:効率的である	平成28年度は千葉県の補助設備に準じ設備等の見直しを行った。																						
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由																							
A:実現している	ホームページ、広報により制度の概要について周知している。	C:実現の余地がない		C:実現の余地がない																							
所管による評価とその理由、課題・問題点																											
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		住宅用省エネルギー設備等を補助することにより、市内における二酸化炭素の排出量の削減を促進した。今後、設備等の見直しが予想されるため設置の促進に向け制度の充実を図る。																									
企画政策課での評価とその理由																											
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		市内の住宅に住宅用省エネルギー設備等を設置する市民に対し、補助金を交付したことにより、二酸化炭素の抑制に成果が認められる。今後も意識の啓発に努め、二酸化炭素の排出抑制に努めるものとする。																									
政策調整会議での評価とその理由																											
庁議における方針																											

ACT (改善)	29年度活動指標(アウトプット)の設定		29年度成果指標(アウトカム)の設定	
	助成件数		抑制されたCO2排出量	
	29年度における事務事業スケジュール		平成29年度における具体的な目標	
4～3月 住宅用省エネルギー設備等補助金受付		太陽光発電システム50件程度、太陽熱利用システム3件程度、地中熱利用システム1件程度、家庭用燃料電池システム15件程度、定置用リチウム蓄電システム15件程度の補助を実施し、家庭におけるエネルギーの安定的な供給並びにエネルギー利用の効率化を図る。		